

評価結果報告書

防府市健康福祉部高齢福祉課介護給付係 宛て

提出日：令和6年 11月 14日

事業所名	24時間在宅老所新田の楽さん家
担当者名	嶋田 新一
連絡先	(0835) 21-3463

運営推進会議等での評価実施日 令和6年 11月 14日

提出書類(対象サービスの□に✓印をして下さい)

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

(別紙 1)自己評価・外部評価 評価表

小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)

(別紙 2-2)事業所自己評価

(別紙 2-4)サービス評価総括表

看護小規模多機能型居宅介護

(別紙 3-3)運営推進会議における評価

認知症対応型共同生活介護

(別紙 2 の 2)自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

【提出先】

防府市健康福祉部高齢福祉課介護給付係

E-mail:kfukushi@city.hofu.yamaguchi.jp

評価結果報告書と提出書類をメールで提出ください。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール 24時間在宅老所新田の楽さん家

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念に関して職員の目が届く位置で玄関前、スタッフルームに掲示している。新人職員に関しては、新人研修の内容の中で理念に関して伝達している。			日頃より役職者が各職員へ理念について伝えていく事で、理念に添った支援の対応が出来るようになっていく。また、新人職員に関しては、新人研修の中で伝えていく。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地区の大掃除に年2回参加。地区の納涼祭に入居者、家族と一緒に参加する予定であったが、コロナ感染予防の為、地域との交流が出来ていない。	買い物や外食は気分転換になって良いと思う。 コロナ前は地域とのつきあいはどんな取り組みをしていたのだろうか？		感染対策に努めながら買い物や納涼祭への参加等、地域との交流を深めていく。 コロナ前は入居者の馴染みのある美容院へ外出したり、近隣の喫茶店へ外食したり等の支援の提供を行っていた。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議では、楽さん家の概要説明、入居者事例報告等の内容について報告し、委員の方へ意見をもらいサービスの質の向上に努めている。	運営推進会議ではアットホームな雰囲気である為、今後も継続して様々な意見交換が出来れば良いと思う。		今後もアットホームで発言しやすい雰囲気づくりを心掛け、委員の方から助言を頂いた内容を支援や業務に活かしてサービスの質の向上に努めていく。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護保険内容や介護事故等の内容に関して不明点等あれば市の担当窓口へ相談を行った。管理者がGH連絡会の運営に携わっており、活動内容として制度面や運営面に関して市の職員の方にも参加して頂き、助言を受ける事で信頼関係の構築に努めている。	制度面等で不明な点があれば、遠慮なく市の担当窓口へ確認してほしい。		制度面や運営面に関して不明点があれば、市の担当窓口へ相談をし助言を受けながら対応していく。日頃より市の職員の方との信頼関係の構築にも努めていく。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化会議を年に4回開催。身体拘束についての研修を2回実施。入居者の支援の課題や身体拘束が起こりやすい状況についてのアンケート調査を行い、会議を活用し職員間で話し合いをする事で身体拘束防止に努めている。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の支援の中で課題が上がった場合には、その都度家族、職員間で話し合いを行い、本人に苦痛のない安心出来る支援の提供に努めていく。

				夜 20 時から翌朝 8 時まで防犯の 為、玄関の施錠をしている。			
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連 法について学ぶ機会を持ち、利用者の自 宅や事業所内での虐待が見過ごされるこ とがないよう注意を払い、防止に努めて いる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者虐待研修を年に 2 回開催 し、職員が虐待について学ぶ機 会を設けている。管理者、主任、 補佐が中心に各職員へ入居者の 支援の悩みの確認を行う事で、 職員のストレスマネジメントにも 努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も虐待に関しての研修を通じ学ぶ機会 を設けていく。 また、職員のストレスにより虐待に繋がる場 合もある為、管理者、主任、補佐が各職員 へ入居者の支援において悩みがないか確認 をしていく。
7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事 業や成年後見制度について学ぶ機会を 持ち、個々の必要性を関係者と話し合 い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	権利擁護に関する制度に関し て、権利擁護や成年後見制度の 事業所内研修を行い、職員が学 ぶ機会を設けている。			各職員が権利擁護について理解する事が出 来るように事業所内で伝えていく。
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利 用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、 十分な説明を行い理解・納得を図ってい る	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約内容に関して不安や疑問点 がないか、その都度確認しなが ら、契約を進め同意を得ている。 契約内容で変更があった場合、 その都度説明を行い同意を得て いる。			契約内容に関して家族が不安にならないよ う具体的に説明を行い、疑問点等がないか その都度確認しながら対応を進めていく。
9	運営に関する利用 者、家族等意見の 反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者 や職員ならびに外部者へ表せる機会を 設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者、家族より意見や要望が 上がった場合、要望シートの作成 を行い職員間で情報共有してい る。また、職員会議にて良い支援 に繋がられるよう話し合う機会を 設けている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族の意向の確認をしなが ら支援の提供に努めていき、要望 が上がった場合には、要望シ ートの作成を行い職員間で情報 共有していく事で本人、家族 が安心して頂けるサービスの 提供に努めていく。
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員 の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ せている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員会議を活用し、職員の意見 を話し合う機会を設けている。 管理者、主任、補佐が職員の状 況に合わせて個別で面談を行い、 意向の確認をしている。代表者 へ報告、相談する内容があれば、 管理者が代表して経営会議 や電話連絡にて報告、相談を行 っている。			管理者、主任、補佐が各職員より悩み等 の意見を相談しやすい流れをつ くる為、日頃から各職員との 関係性構築に努めていく。

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が参加したい外部研修を受講できるよう勤務状況を把握し、現場の体制を整えたり、資格取得や勤続年数に応じて賃金テーブルの設定をしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員がやりがいを持って働く事が出来るよう職員の意見を取り入れながら、職場環境を整えていく。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員のスキル向上に向けて必要な研修案内を業務日誌へ情報提供している。職員が興味のある研修に関して、参加出来るように勤務体制の確保をし調整を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員のスキル向上に向けて興味のある研修へ積極的に参加出来るよう勤務体制の調整を行っていく。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	GH連絡会にて事業所の取り組みや運営に関する課題等について意見交換を行い、助言を頂く事でサービスの質の向上に努めている。			同業者との交流する機会を設け、運営面に関する事や現場における課題に関して意見交換していく事で、互いのサービスの質の向上に努めていく。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の状況に応じて家事手伝いや掃除等自身で出来る事は職員と一緒に作業を行い、日常生活の中でやりがいをもって頂けるようにしている。			本人の状況を情報収集しながら、自身で出来る事(洗濯量、掃除等)はして頂き、日常生活にやりがいをもって頂けるよう支援していく。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族や知人との面会に関して、感染状況を見極めた上で玄関先で短時間の面会を実施したり、電話にてゆっくり会話出来るよう環境の配慮を行っている。	面会はどうに対応しているのか？ 感染状況に合わせて面会対応をしていけば良いと思う。		面会に関しては、感染状況に応じて対応しており、面会可能な時は、玄関先にて条件付きで面会対応をしている。制限している際には、テレビ電話等の活用をしている。今後も感染状況に応じて対応していく。
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その都度、各入居者の意向の確認をしながら、本人に合った支援の提供をしている。意思疎通が厳しい入居者に関しては、家族に意向の確認をし、本人の意向に近づけるよう支援の提供に努めている。			日常生活の支援をする中で、本人の意向を確認しながら要望が上がった場合には、要望シートの作成を行い、職員間で情報共有する事で一貫性のある支援に繋げていく。

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画に関して、本人や家族の意向を確認し、課題内容等について職員からも意見を取り入れながら作成をしている。モニタリングに関しては、2ヶ月に一回の全体会議にて話し合いをしている。	本人の状況に関して、電話やメールにてこまめに報告がある為、安心出来ている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族の意向、職員の意見を取り入れながら介護計画の立案をしていく。 家族が不安にならないようこまめに近況報告をしていく。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子について、D4シート(日常生活の記録)、医療日誌、業務日誌の活用を行い、勤務前に記録物の確認をする事で把握に努めている。気づきがあれば、要望シート、情報発見シート等の活用を行い、職員間で情報共有をする事でケアの見直しをしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の日々の様子に関して、日頃とは異なる様子等あれば、職員間で情報共有していき、その都度支援方法や介護計画の見直しをしていく。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活の動作等で課題がある場合、家族へ相談の上、主治医とも連携を図りながら、必要に応じて理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等より専門的な助言をもらっている。	日常生活動作の中で特記があれば、主治医を中心に専門職の人にも様子を見てもらっている為、安心出来ている。		入居者の状況で特記がある場合には、主治医、看護職員と連携を図りながら必要に応じて専門職の人に助言をもらって対応していく。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地区の納涼祭イベントに参加する予定であったが、コロナ感染状況により中止となった。 感染状況が落ちついている時は、本人の要望に応じて近隣スーパーへ買い物へ行く等、地域の方との交流を深め、充実出来る支援の提供を行った。	感染症の状況によっては、外出等の支援も厳しい状況もある。その中でも充分に対応が出来ていると思う。		地域との交流を深める為、感染対策に努めながら納涼祭イベントの参加、近隣スーパーへ外出する等本人の要望を取り入れ、充実出来る支援の提供をしていく。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護職員が中心に協力医療機関と連携を図り、必要に応じて24時間往診体制で適切な医療を受ける事が出来るように体制を整えている。			急変があった場合には、看護職員と連携を図りながら主治医へ状況報告を行い、指示を仰ぐ。その中で、本人、家族の意向を大切に適切な医療を受けられるよう支援していく。

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院発生時は、家族同意のもと入院先の医療機関へ口頭での情報提供を含め、情報提供書の提出を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院が発生した場合には、家族が不安にならないよう家族の意向を確認しながら、医療機関と情報交換を行っていく。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に重度化の指針、看取りについての内容を説明し同意を頂いた上で、家族の意向の確認を行っている。本人の状況が変化した場合は、家族、職員と今後の方向性について再度意向の確認を行い、書面に残している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取りに関して、本人と家族の意向の確認を行い、安心して頂けるよう何度も話し合いをし、納得の出来る支援の方向性を詰めて対応を行う。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時マニュアル、事故発生時のマニュアルを作成し、職員が確認出来るようにしている。新人職員に関しては、新人研修の内容で急変時の対応等について看護職員が伝授している。			特に夜間一人体制の時に事故や急変が起こった場合が不安になりやすい為、日頃より看護職員が研修などで急変時、事故発生時の対応について伝えていく。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防災訓練を年1回、避難訓練を年に2回実施し、消防機関の方より助言を受けている。	色々なパターンを想定し、訓練に取り組んでいる。今後は全職員が物品の使用方法を正しく理解して、火事が実際に発生した場合の対応が出来るようになると良いと思う。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員が物品の正しい取り扱いについてや避難に関して理解ができるよう、避難訓練を開催した場合に参加する職員が偏らないように対応していく。
III. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	支援する中で入居者の自尊心、羞恥心に配慮しながら、入浴やトイレ誘導等の声掛けや対応を行っている。入浴に関して、同性介助を希望された方に関しては同性介助で対応を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	支援する上で声かけや対応方法に関して、本人の自尊心に配慮しながら対応を行っていく。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の状況に応じて、食事の提供時間、起床時間を配慮したり、自室で休んで頂く時間の確保をしたり等、本人の意向を確認しながら対応を行っている。			その日の入居者の状況に応じて、起床、食事の提供時間など本人の意向に添って支援の提供をしていく。

28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の好みの物、苦手な物を把握、本人の嚥下状況に応じて食事内容の見直し、美味しく食べて頂けるよう声掛けの工夫をしている。また、季節感を味わって頂く為、定期的に食事イベントを開催している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者が食事を楽しむ事が出来るように日頃から好みの食べ物をリサーチしていく。時に好きな食べ物を食べに外出する事も踏まえながら支援の提供に努めていく。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量、水分量を把握する為、当日、単月の状況がすぐ確認出来るようipad(電子機器)を活用し記録。入居者の状況により、主治医判断のもと、管理栄養士、言語聴覚士の方に来訪してもらい、嚥下状況や食事内容を確認後、助言を受けている。			引き続き、一日の食事量、水分量を記録にて確認しながら、食事や水分があまり摂取出来ない場合には、本人の好物の物を提供する等、本人の無理のないよう支援の提供をしていく。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後、就寝前に口腔ケアの実施を行い、口腔内の清潔保持に努めている。自身で口腔ケアが難しい方に関しては、口腔ケアスポンジを活用し、職員が対応を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者一人ひとりの状況に応じて、苦痛のない口腔ケアの実施に努めていく。口腔ケアに関して特記があれば、専門職員へ相談して対応を行っていく。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自発的にトイレに行く事が難しい方に関しては、排泄チェックボードを活用し、その方の排泄状況の把握をした上で、自尊心に配慮しながら3時間を目安にトイレ誘導を行っている。 便秘予防として、体操をしたり、腹部をホットタオルで温めたりする事で自然排便を促す取り組みをしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄状況を把握しながらトイレ誘導やおむつの確認を行い、不快感軽減に努める。 便秘予防に関しては、看護職員と連携を図りながら対応していく。
32	入浴を楽しむこと ができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間帯や一人体制を除き、出来る限り本人の要望に応じた入浴対応が出来るよう配慮をしている。気持ち良く入浴して頂けるよう心の動く声掛けや対応の工夫もしている。			気持ち良く入浴して頂けるように充実された後に入浴の声掛けを行ったり、入浴剤の使用をするなど工夫をしながら、本人の意向に添った入浴支援の提供に努めていく。

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就寝時間を決めず、入居者が休 みたい時間に就寝して頂いてい る。日中に関しては、入居者の意 向の確認や状況に合わせて、自 室で休んで頂く時間の確保をして いる。			その日の入居者の状況に応じて、就寝対応 や休息の対応をしていく。不眠が続く場合 には、日常生活の過ごし方の見直しをしてい く。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副 作用、用法や用量について理解してお り、服薬の支援と症状の変化の確認に努 めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	何の薬を飲まれているか、すぐ確 認が出来るよう薬を管理している 横に薬の説明書を設置。薬剤訪 問管理指導を契約している為、 薬に関して不明点があれば 24 時間体制で相談出来るようにな っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬に関して不明点があればその都度、薬剤 師の方へ確認する。 薬を服用する中で特記が見られれば、看護 職員へ相談し指示を仰いで対応を行ってい く。
35	役割、楽しみごとの 支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるよ うに、一人ひとりの生活歴や力を活か した役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換 等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個性を活かせるよう、その入居者 に合った家事手伝い、塗り絵、パ ズル等の個別的な作業の提供や 集団でのレクリエーションで歌、 体操、カルタ等の提供を行ってい る。	入居者の状況に応じて様々な情報を調べて 支援の提供をしていくと良いと思う。		その入居者に合った役割や楽しみ事の支援 の提供が出来るよう、様々な情報収集を行 った上で支援の提供を行っていく。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸 外に出かけられるよう支援に努めてい る。また、普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かけられるよう に支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染状況を見極めながら、本人 の要望で個別にて市外へ食事を 食べるに外出支援の提供を行っ た。家族との外出が出来ていな い為、感染対策をした上で家族と の外出も検討中である。	感染症が落ちついている時には近隣のスー パーを利用すると良いと思う。		買い物や外食等の外出支援は気分転換に なり喜ばれる為、感染状況を見極めながら 喜ばれる外出支援の提供を行っていく。
37	お金の所持や使う ことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切 さを理解しており、一人ひとりの希望 や力に応じて、お金を所持したり使 えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人より希望があれば、事前に 家族へ相談し少額のお金を所持 している。			本人より希望があれば家族に相談後、お 金を所持し、買い物の際に支払いが 出来るよう職員がサポートしていく。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話 をしたり、手紙のやり取りができる ように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話に関して、家族や知人と電 話がかきたいと要望があればその 都度対応している。年賀状に関し て、出来る方であれば職員と一 緒に作成をしている。			本人より希望があれば、家族や知人 の方との電話や手紙等のやりとり が出来るように職員がサポートに入 りながら対応していく。

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関や食堂に和テイストの飾りや季節に合った造花を飾り、家庭的な雰囲気や工夫を行っている。また、空調管理に関しても室温計や入居者の状況に応じて温度調整し快適に過ごして頂けるよう配慮している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人にとって居心地のよい空間の提供が出来るよう、自室へ家族の写真や馴染みのある物を飾る事で安心して頂けるよう自室の環境の配慮もしていく。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. あまりできていない	出来る限り入居者の意向に沿った日常生活を送る事が出来るよう、支援の提供を行っているが、外出支援の提供があまり出来ない。			日常生活の中で本人より要望が上がり、その場の状況で対応が出来ない支援(外出等)に関しては、計画を立ててから支援の提供をしていく。
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の今までの暮らしの習慣を日頃のコミュニケーションを図る中で、情報収集を行っている。また、職員間で情報共有する事で一貫性のある支援に努めている。			本人の状況を情報収集する中で、新たに知った状況等あれば情報発見シートの作成を行い、職員間で情報共有していく。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護職員が中心に体調管理を行い、何か特変があれば主治医へ相談し、指示を受けながら支援に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調面に関しては、看護職員を中心に対応していき、何か特変があれば主治医へ相談し対応していく。また、特変があった場合には家族へ状況報告をする。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまでの生活習慣を本人、家族へ聞きながら本人の意向に沿った生活が出来るようにしている。共同生活の中で厳しい場面もあるが、その都度安心して頂ける声掛けや環境の工夫を行っている。			その時の状況に応じて、本人の意向に添った支援の提供をしていく。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の馴染みである物(ご主人の写真、ぬいぐるみ、靴)を自宅から持って来てもらい、自室に設置している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自室に家族の写真、馴染みのある物、好きな物(猫の写真等)を飾る事で本人に安心出来る空間づくりに努めていく。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染状況を見極めながら、気分転換に買い物、個別外食イベントの提供を行った。しかし、感染状況によりイベント行事に参加する事が出来なかった。	感染状況により外出が出来ない事はやむを得ない事だと思う。		本人の意向に添った支援の提供ができるように感染状況を見極めながら、外出支援の計画を立案し実践していく。
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の状況に合わせた支援(家事手伝い、パズル、おはじきの色分け等)の提供が出来るように職員間で情報共有をしながら、支援の提供をしている。			本人の状況を情報収集しながら、個々の状況にあった充実出来る支援(家事手伝い、塗り絵等)の提供をしていく。
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひとつや、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの入居者同士が自室や食堂のソファでゆっくり会話をしして頂けるよう環境の工夫をしたり、食堂の席の配置も入居者同士の性格等も考慮している。個別で過ごしたい方に関しては、個別の空間でゆっくりして頂ける環境の配慮も行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の状況に応じて、個別でゆったり出来る空間や寂しくないよう入居者同士や職員と会話が出来よう環境の配慮も行いながら、支援の提供をしていく。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者と菜だよりの配布をしたり、近隣のスーパーへ買い物に行く事で地域との交流を深めている。しかし、地区の納涼祭に参加予定であったがコロナ感染状況により参加が出来なかった為、来年は参加予定である。	感染状況に応じて地域との交流を深めなければ良いと思う。		感染対策に努めながら、入居者と一緒に楽しんで家だよりの配布をしたり、地区の納涼祭、大掃除に参加する事で地域との交流を深めていく。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	充実した日常生活を送って頂けるよう本人の意向を聞きながら支援の提供を行い、日頃より本人との関係性構築に努めている。去年に比べ外出支援や買い物支援の提供が出来ているが、地区の納涼祭イベントの参加等あまり地域との交流が出来ていない為、今後は地域との交流をより深めていきたい。	入居者の意向の確認をしながら、充実出来る支援の提供をしてほしい。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向の確認をしながら、充実出来る支援の提供をしていく為、日々職員と入居者との信頼関係の構築に努めていく。地域や家族との交流があまり出来ていない為、地域のイベント行事(納涼祭、地区内大掃除)の参加や家族と本人と職員で個別家族会を開催する等地域と家族との関係性構築にも努めていく。

2. 目標達成計画

事業所名: 24時間宅老所 新田の楽さん家

作成日: 令和6年 11月 14日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	コロナ禍の状況より以前に比べ、入居者と家族との交流が減ってきている現状である。その為、入居者、家族、職員との関係性構築に努めた支援の提供が必要である。	入居者、家族、職員の関係性構築を図る為、個別家族会を開催し交流を深めていく。家族との交流を深める事で、楽さん家の支援の取り組みを知って頂ける機会とする。	感染症の状況や時期を見極めながら、入居者の状況に応じた喜ばれる支援の内容で個別家族会の計画を立案し、家族と日程調整を行った上で実践していく。各入居者1年1回を目安で開催していき、入居者、家族、職員との交流を深め、関係性構築にも努めていく。	12ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。